

UDブラウザを試験で活用する

単元テストや小テストから、UDブラウザの「試験モード」を取り入れてみませんか？

UDブラウザには、「試験モード」機能が搭載されています。この機能を利用することで、不正行為を防止する設定を行うことができるため、試験でもUDブラウザを使用することができます。

＊UDブラウザは大学入学共通テスト等において使用することができます。（そのためには、定期試験での使用実績が必要になります。）

【UDブラウザの「試験モード」の不正行為防止機能】

①UDブラウザ内の機能の使用制限

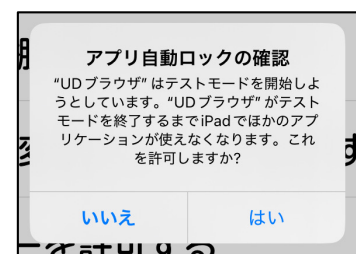
「試験モード」の設定で、UDブラウザ内にあるコピーや検索といった不正行為に繋がる機能をOFFにすることができます。



試験モードにおける設定画面

②他のアプリの自動ロック

「試験モード」の設定を行うと、iPadにある他のアプリにアクセスできないように、自動でロックを掛けることができます。



アプリ自動ロックの確認画面

③問題用紙の画面以外は閲覧不可

「試験モード」を使用中は、指定した問題用紙のデータ以外は閲覧することができません。（書棚に戻ることができないようになっています。）

試験問題をデータにしてUDブラウザに読み込むことで、問題文や細かい図表等を拡大して見るすることができます。

UDブラウザの「試験モード」を活用することで、見え方に困難のある児童生徒が、試験に取り組みやすい環境づくりを行うことができます。

試験モードの使用法動画：<https://www.youtube.com/watch?v=fze1tcHQOWM>
（群馬県立盲学校公式チャンネル：UDブラウザ「試験モード」の紹介）

マニュアル参考箇所：「6.3 UDブラウザへデータを転送」、「8. 試験モード」